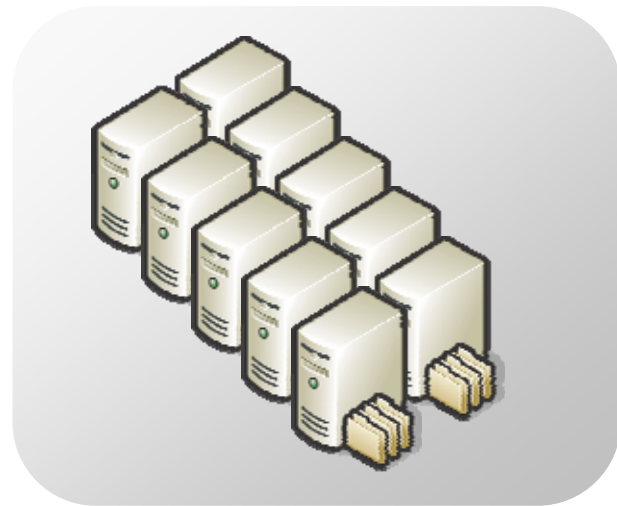


VMwareを用いた仮想化技術によりサーバの台数を削減し、サーバ機の消費電力を削減します。



サーバ台数を削減し、  
少数のサーバと  
ストレージに切替

機器コストや  
運用管理コストも  
削減!!



仮想マシン上でWindowsやLinuxなどさまざまなOSを動作することができ、データセンタ規模から開発・テスト作業向け、セキュアPCなど、企業のあらゆる用途をカバーします。

## CO<sub>2</sub>の削減効果シミュレーション

[前提] 「VMware」を用いて、サーバ(500Wh) × 10台の構成を、サーバ(同) × 2台とストレージ(600Wh) × 1台の構成に集約した場合。

$(500\text{Wh} \times 10\text{台} - (500\text{Wh} \times 2\text{台} + 600\text{Wh} \times 1\text{台})) \times 24\text{時間} \times 365\text{日} = 29,784\text{kWh/年}$

$29,784\text{kWh/年} \times 0.378(\text{CO}_2\text{排出の原単位}) = \text{約}11,258.4\text{kgCO}_2/\text{年}$  **年間約11.3tのCO<sub>2</sub>を削減!!**

「環境省ガイドライン」より出典

上記のシミュレーション結果のほかに、サーバ機の保管場所の削減や、マシン室の空調などの消費電力の削減効果も期待できます。